



せんい技術情報

群馬県立群馬産業技術センター
繊維工業試験場

〒376-0011 群馬県桐生市相生町 5-46-1
TEL 0277-52-9950 FAX 0277-52-3890

より詳しい内容を御希望の方は、当試験場の各担当者までお問い合わせ下さい。

■ 最近の研究紹介 ■■■■■■■■

【防災バッグ用生地の開発】

近年、堤防決壊のような大規模な洪水や災害の発生が増加しています。こうした背景から、繊維製品においても、災害から命を守る商品開発が求められています。そこで本開発では、小学生の通学カバンなどへの応用を想定し、モダクリル糸を素材とする防災バッグ用生地を開発に取り組みました。

(株)カネカ製のモダクリル糸「Protex-C」(織度：10/3S)を原料糸とし、帆布8号と同様の織物設計で製織を行いました。さらに、得られた織物には、染色及びはっ水加工を施しました。染色は、液流染色機によりカヤクリル-ED染料を用いて、濃い紅色に染色しました。はっ水加工は、パッド・ドライ処理によって、繊維表面を炭化フッ素のナノ粒子で被覆する処理を行いました。

作製した防災バッグ用生地の性能評価としては、難燃性、はっ水性、耐水性、染色堅ろう性及び物理的強度の評価を行いました。

難燃性については、酸素指数法(O.I.)が32.9と非常に高いことが分かりました。一般に、はっ水加工を施すと難燃性が低下するといわれますが、今回の結果では若干の向上が認められました。

はっ水性と耐水性については、太い糸による帆布8号と同様の織物設計にもかかわらず、はっ水度5級及び耐水圧175mmという良好な結果が得られました。

また、摩擦堅ろう度、耐光堅ろう度、水堅ろう度、引張強度及び縫い目強度についても、バッグ用生地としての十分な性能を示しました。
(研究調整官 久保川)

■ 講演会のご案内(予告) ■■■■■■■■

【はじめてのチャット GPT 活用と

中小事業者のDX】

チャット GPT に代表される、人工知能(AI)チャットボットが話題となっています。チャット GPT の概要や利用の仕方、使用する場合の注意点、また、中小企業実務でどのように活用できるのかについて紹介します。あわせて、AIに限らず中小企業において活用可能なデジタルトランスフォーメーション(DX)ツールについても紹介します。

インターネット環境があれば、どこでも参加可能なオンラインで開催します。

□ 日時 9/7(木) 13:30~15:30

□ 講師 ホームページコンサルタント永友代表 永友一朗 氏

□ 募集 8月上旬から受け付けます

(素材試験係 石井)

■ 産地概況 ■■■■■■■■

【令和4年桐生繊維業界の実態】

桐生市繊維振興協会から、協会加盟10団体を対象とした令和4年1月~12月までの桐生産地概況をまとめた「桐生繊維業界の実態」が発行されています。

これによると、産地収入は、合計で115億4,410万円となり前年対比99%でした。ほか組合員数(事業所数)165事業所(前年対比97%)、総従業員数1,261人(前年対比102%)で従業員数は微増でした。

各団体で、多少の違いはありますが、コロナ後の需要の拡大も見られるようです。ただし円安や燃料費、資材コスト、送料などの高騰もあり、引き続き課題がある状況です。

(技術支援係 五十嵐)